

あおもり漁連

代表理事会長 植村正治 書

資源有限漁業無限

No.

143



青森県漁業振興推進懇談会

CONTENTS

青森県漁業協同組合連合会通常総会	1
青森県漁業経営安定対策本部通常総会	2
青森県漁業振興推進懇談会	3
青森県漁船海難防止決起大会	5
むつ湾漁業青色申告会連合会	
創立30周年記念祝賀会	6
「ほたての日」記念行事 6月18日	7

漁協合併推進状況	9
浜の情報・話題	
経営体質強化緊急総合対策事業	10
青森県漁業共済組合	11
(社)青森県漁港漁場協会	11
平成18年度はまなす植樹	11
水産に関する主な動き (4月～6月)	12
県内漁協紹介 (大畑町漁協)	13

2006 7

21世紀は漁村の時代

平成18年度（第57回事業年度）青森県漁連通常総会 開催

平成18年6月14日、青森県水産ビル7階大会議室において、青森県漁連平成18年度（第57回事業年度）通常総会が開催され、平成17年度決算、平成18年度事業計画、定款の一部改正に関する件など6議案を審議、いずれも原案どおり承認決定した。



開催にあたり、植村正治会長は『最近の我が国の経済情勢は、都心部では景気が上向き傾向の兆しが見えるものの、地方では未だ回復基調にはなく低迷いたしており、漁業を取り巻く環境も、周辺水域における資源量の減少、輸入水産物の増加と消費低迷による魚価安、高齢化の進行による漁村地域の活力の低下等、大変厳しい状況にあります。』

これら状況に追い討ちをかけるかのように、ここ数年来大型クラゲの大量発生による漁獲不振、あるいは中国をはじめとする世界の石油需要の急増による燃油の高騰が漁業者に大きな打撃を与えております。

大型クラゲによる漁業への影響は全国的規模で起こっており、県段階、全国段階においても大型クラゲ対策協議会を立ち上げ、その対策にあたっているところではありますが、その解決策はなかなか見出せず、漁業者は苦境に立たされております。

一方、燃油の高騰については、これは国際的な問題であり、漁業関係者だけでは如何ともし難く、この二つの問題については、関係団体で国へ強く働きかけてきたところであります。

その結果、平成17年度の国の補正予算において、大型クラゲ・燃油高騰への対策として「経営体質強化緊急総合対策事業基金（51億円）」が全漁連内に設置されました。この基金は、平成18年度内に利用が限定されておりますが、年度内に有効に利用されることを期待しているところであります。

昨年7月には、「JF改革（漁協合併）促進大会」を開催し、将来に亘り安定した漁協の経営基盤を築いて行くため、平成19年度末までに「合併基本計画」を完遂することが決議されておりますので、是非会員の皆様にこの決議の実現性を高めていただきますよう、この場を借りてご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年4月には本県漁業の情報発信基地となる「ほたて広場」が平内町土屋地区に完成し、関係者のご協力の下、盛大に式典が開催されました。

本県漁業全般については、津軽海峡でまぐろが豊漁、陸奥湾においてほたてが2年連続で120億円台となるなど、明るい話題の一方で、主要魚種である、するめいか・やりいか・さけ等が漁獲不振となり、今後の漁業生産に大きな不安を残したところでもあります。』と挨拶を述べた。

続いて、来賓を代表して三村申吾青森県知事（長谷川義彦出納長代読）より祝辞があり、議事に入った。

議事は、三國優野牛漁協組合長を議長に選出し、第1号議案の平成17年度収支決算に関する件を始めとする6議案が上程され、いずれも原案どおり承認決定された。



主催者挨拶を述べる植村会長



来賓挨拶を述べる長谷川出納長



議長を務める三國組合長



総会風景

青森県漁業経営安定対策本部 平成18年度 通常総会開催

去る6月14日青森県水産ビル7階大会議室において、平成18年度の通常総会が開催された。

開催にあたり、植村本部長は「昨年は大型クラゲが大量に来襲し、網漁業に甚大な被害を与え、また燃油の高騰は漁業経営を更に厳しいものとなったことから、関係機関に対策を要望してきました。

18年度の計画は、指定漁業の一斉更新に対する取り組み、漁協合併構想の完遂、大型クラゲ及び燃油高騰対策、I Q（水産物）堅持、県栽培漁業振興協会への対応等について推進して参ります。」と挨拶を述べた。

続いて、青森県農林水産部水産局の奈良岡局長が来賓挨拶を行い、議事に入った。

議事は、第1号議案の17年度の事業報告と収支決算、第2号議案の18年度の事業計画（案）と収支計画（案）を原案通り承認して総会は終了した。



主催者挨拶を述べる植村本部長



来賓挨拶を述べる奈良岡局長



総会風景

平成18年度事業計画

1. 指定漁業許可の一斉更新に対する対策について

来年8月の指定漁業許可一斉更新に向けて、大臣・知事許可漁業の整合性と安全操業の秩序維持を図るとともに水産基本法の理念に基づいた資源管理型漁業の確立のため、関係機関と連携をとり諸要請活動等を積極的に実施して参ります。

2. 大型クラゲ及び燃油高騰対策について

大型クラゲ来襲による被害、燃油価格の高騰等により、漁業経営は更に厳しい状況に立たされていることから、経営体質強化緊急総合対策基金（51億円）を活用し、基金が更に必要な場合は追加要請をする等、関係機関と連携を図り諸対策の要請をして参ります。

3. 漁協合併計画完遂について

漁協経営基盤の強化を図るため、漁協の事業・組織・経営改革を推し進めるとともに20年3月の合併期限までに合併完遂に向け、下記の事項を強力に推進して参ります。

- ① 現在研究会、協議会を設置し積極的に合併協議を行っている地区への促進強化。
- ② 認定漁協等に対しての優遇措置や合併後の経営指導等の取り組み。
- ③ 漁協合併に参加しない漁協に対する経営改善等の指導強化策の取り組み。

4. 青森県栽培漁業振興協会への対応について

県栽培漁業振興協会は、これまでひらめ・あわび等の栽培事業を実施し、本県漁業の振興に大きく寄与してきたところでありますが、今後も資源管理型漁業の原点である栽培漁業の持続発展のため、従来どおり県が主導となり実施していただくよう要請して参ります。

5. I Q（水産物）堅持対策について

わが国は世界有数の水産物輸入大国となっているため、水産物の輸入阻止運動を展開すると共に、WTOにおける輸入水産物の関税撤廃阻止・FTA交渉における漁業への最大限の配慮及びI Q制度の堅持については、引き続き関係機関と積極的に連携を図って参ります。

6. その他諸問題について

その他、本県の抱える諸問題及び諸情勢の変化に迅速に対応できるよう、関係機関と密接な連携を取りながら、諸対策を推進して参ります。

「青森県漁業振興推進懇談会」開催

本年4月県農林水産部に水産局設置

青森県は全国トップクラスの水産県を持続するため、栽培漁業及び資源管理型漁業を一層推進し、これまで取り組んで来た「攻めの農林水産業」を着実に実践することを目的に、本年4月1日、水産局を設置した。これを機会に去る6月15日、知事をはじめとする県と漁業関係者により、今後の漁業振興についての意見交換をすべく、「青森県漁業振興推進懇談会」が水産ビルで約100人が出席し、開催された。

開催にあたり、主催者を代表して植村県漁連会長は、「漁業は大変厳しい状況下にあります。我々の思いを三村知事が汲んで下さり、水産局を設置していただき大変ありがたいと思いました。我々の思いは魚のいる海であること、漁業者が共存できる体制、そしてすばらしい青森県の漁業を再生させるために官民一体となり取り組んでいきたい。そのためには皆様のお力添えをお願いしたい」と挨拶を述べた。

続いて、来賓として三村県知事が「水産基本法に基づき、大臣許可の沖合漁業と沿岸漁業の問題も大変大きな問題となっております。どうしたら、うまく解決していくかが課題です。私達は、地域産業をどのように守っていくのか。漁業振興を図るためにはどのようにしたら良いのか。皆さんと一緒に考えて参りたいと思います。山・川・海を通して資源管理の推進を図りたいと考えております。水産局も設置しましたので、皆様のご意見を言っていたいただき、水産局を大いに利用して下さい。」と挨拶を述べた。



提言を述べる奈良岡局長



主催者挨拶を述べる植村会長



来賓挨拶を述べる三村知事

そして、初代奈良岡水産局長から「本県は栽培漁業、資源管理型漁業の先進県であります。今や100億円産業を誇るホタテ養殖漁業、そして日本一のヒラメの漁獲など、大変素晴らしい資源が豊富であります。今後も水産資源の維持増大に努め、より一層攻めの農林水産業を加速させたい」と提言がなされた。

この後、各海域代表者から現状や要望について発言がなされた。最初に下北・太平洋を代表し、県東部海域漁業協議会の澤口会長から「東部の海区は昭和38年以来全く変わっていない。現在の漁法から言うと、本当の資源管理型漁業の推進をすることができない。従って海区の改正をお願いするとともに、諸問題について県と我々漁業者が一体となって考えていきたい」と述べた。

次、日本海を代表し、西北水産振興会の山本会長から「近年、クラゲの来襲や燃油高騰等、漁業問題が山積し、益々漁業者は厳しい局面に立たされている。この様な中で、私の願いは、漁場再生のため人工海底山脈の設置を願いたい。これにより広い範囲で、回遊魚、底着魚等が集まり豊かな漁場となる。資源増大のため是非実現してほしい」と述べた。

最後に、むつ湾を代表し、むつ湾漁業振興会の三津谷会長から「私は漁業共済組合長の立場からお願いしたい。ほたて漁業は自然災害が多く、我々も漁業共済の加入促進に力を入れているが、全国から比べると加入率が46%と低く、経営難より掛金が払えないのが理由だ。是非、県の支援をお願いしたい」と述べた。

各代表者からの意見後、各々が和気あいあいに懇談し、盛会のうちに閉会した。



意見表明をする三津谷会長



意見表明をする澤口会長



意見表明をする山本会長

青森県漁船海難防止決起大会開催

主催者挨拶を述べる奈良岡局長



主催者挨拶を述べる植村会長



来賓挨拶を述べる井上部長



大会風景

去る5月30日青森県水産ビル大会議室において、県内から漁協組合長、役員、漁協担当職員、市町村担当職員等約200名が参加し青森県漁船海難防止決起大会が開催された。この大会は、4月19日から24日までの6日間で4件の海難事故が相次いで発生し、4名が死亡・行方不明となったことから、二度とこのような海難事故が繰り返されることのないよう、救命衣着用に対する意識の高揚と啓発を

図り、漁船海難事故の根絶を期することを目的として、青森県と青森県漁船海難防止・水難救済会が開催した。

開催に先立ち、海難事故によりお亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、黙祷を行った。

黙祷終了後、主催者挨拶を行い、青森県農林水産部水産局の奈良岡局長、青森県漁船海難防止・水難救済会の植村会長が挨拶を述べた後、青森海上保安部の井上部長の来賓挨拶に続き、漁船海難事故防止について、青森海上保安部の朝田専門官が講演を行った。朝田専門官は、最近の海難事故の事例をスクリーンに映して参加者に説明しながら、漁に出るときは必ず救命衣を着用してくださいと何回も話していた。

最後に、青森県漁船海難防止・水難救済会の熊谷副会長が大会宣言を読み上げた後、大会スローガンを全員で復唱して、救命衣の着用、浜から海難をなくすることを誓った。

大会宣言

本県漁船は、太平洋・日本海・津軽海峡・むつ湾、そして択捉島沖合海域をはじめとする外国水域の気象や海況が大変厳しい海域での操業を余儀なくされていることから、安全操業の確保と海難事故防止を図ることが重要であります。

しかしながら、漁業関係者並びに関係機関の努力にもかかわらず、漁船海難は後を絶たず、尊い人命と貴重な財産が失われており、特に過日、相次いで発生した海難ではたった6日間のうちに4件の漁船海難事故が発生し、4名の浜の仲間が死亡ないしは行方不明となったことは、極めて残念で痛恨の極みであり、また、残されたご家族の心中を察するに余りあるところです。

今日の「青森県漁船海難防止決起大会」に出席した私たちは、海難事故ゼロを達成するため、漁船海難防止活動、中でも海中転落を主因とする死亡・行方不明ゼロを目指した救命胴衣着用運動を積極的に推進し、浜に浸透させていくことを、ここに強く宣言します。

平成18年5月30日

青森県漁船海難防止起大会

* むつ湾漁業青色申告会連合会 *

創立30周年記念祝賀会

去る6月30日、青森市・アラスカにおいて、むつ湾漁業青色申告会連合会の創立30周年記念祝賀会が開催された。

祝賀会では、同日、通常総会で新しく会長に選任された山口隆治会長（後潟青申会）が「本連合会は、むつ湾内の漁業青色申告会の指導連絡を図り、青色申告を基礎とした税務、経理及び経営の調査研究並びに指導を行うと共に納税道義の向上に資することを目的として、昭和51年4月に設立されました。近年、漁業を取り巻く情勢は、大型クラゲの襲来による被害や燃油高騰問題等、漁業者にはますます厳しい経営に立たされている状況にあります。が、漁業の盛衰が直接反映する納税に係わっている本連合会は、30周年を迎えるにあたって、今後とも納税節約の研究と共に、適正な納税による社会貢献を念頭に会員の皆様を支援して参る所存です。」と主催者挨拶を行った。

この後、永年役員功労表彰として、永年に亘り連合会の役員を務めた9名を代表して前田昌夫・前会長に表彰状が贈呈された。

続いて、植村正治県漁連会長による乾杯で祝宴に移り、三津谷廣明むつ振会長の中締めで盛会裡に終了した。



主催者挨拶を述べる山口会長



祝辞を述べる植村会長

《永年役員功労表彰者》

佐々木 信 昭（三厩村漁業青申会）
前 田 昌 夫（平舘漁業青申会）
大 宮 平八郎（蓬田村漁業青申会）
田 中 三寿男（平内町漁業青申会）
大 室 石 夫（むつ市漁業青申会）
浜 村 敏 貞（むつ市漁業青申会）
船 橋 元 吉（川内町漁業青申会）
浜 田 勲（川内町漁業青申会）
立 石 政 男（脇野沢村漁業青申会）



永年役員功労表彰

合併促進法期限迫る

平成20年3月末に控えた漁協合併促進法の期限を前に、本県では現在の56漁協を最終的に15漁協に再編することを目指している。現在、合併を前提とした「認定漁協」に事前認定されている8地区において研究会、協議会を組織し、平成20年1月の合併に向けた協議を進めている。一部の地域で、合併の基本となる事項や定款を作成する基本事項が合意された。しかし、促進法期限まで2年を切ったにもかかわらず、なかなか計画どおり進んでいないのが現状である。このような背景には様々な要因があるが、中でも大きな課題となっているのは漁協間の財務格差が挙げられる。協議組織から離脱して単独での存続を決めた漁協もある。だが最近では、交付金や助成金の条件に「認定漁協」「合併漁協」が挙げられる事例が増えるなど、今後は厳しい選択を迫られることが予想される。合併自体が目的ではないが、漁協は存続しなければならないし、漁業者の生活を守るためにも本年度を「正念場」ととらえて積極的に協議を重ね、目標完遂のために邁進しなければならない。

「認定漁協」に事前認定された漁協と協議組織

枠組	地区名	漁協数	参加(対象)漁協名	研究会設置	推進協議会設置	会 長 名	事 務 局	進 捗 状 況
1	日本海海域の1	7	大間越、岩崎村、鱈作、風合瀬 大戸瀬、赤石水産、鰺ヶ沢	(H16.04.30)	(H17.06.09)	・太田助役 (鰺ヶ沢町)	・鰺ヶ沢漁協	・事前認定 (H18.01.25) (基本となる事項、定款作成の基本事項合意)
2	日本海海域の2	5	車力、十三、脇元、下前、小泊	(H17.10.24)		・加藤助役 (中泊町)	・小泊漁協	・事前認定 (H18.01.25)
3	むつ湾海域の1	4	竜飛、三厩村 今別町東部、今別町西部	(H16.10.08)		・阿部助役 (今別町)	・今別町西部漁協	・事前認定 (H18.01.25) (基本となる事項、定款作成の基本事項合意)
4	むつ湾海域の2	2	後潟、青森市		(H13.12.27)	・川村組合長 (青森市漁協)	・青森市漁協	・事前認定 (H18.01.25)
5	むつ湾海域の3	2	野辺地町、横浜町	(H17.01.26)		・古田助役 (野辺地町)	・野辺地町漁協	・事前認定 (H18.01.25)
6	むつ湾海域の4	3	むつ市、川内町、脇野沢村	(H16.09.27)		・立石組合長 (脇野沢村漁協)	・むつ市漁協	・事前認定 (H18.01.25)
7	津軽海峡海域の1	6	石持、野牛、岩屋、尻屋 尻労、猿ヶ森	(H13.12.25)	(H17.11.30)	・田野助役 (東通村)	・野牛漁協	・事前認定 (H18.01.25)
8	太平洋海域	2	泊、六ヶ所村海水	(H17.08.08)		・戸田助役 (六ヶ所村)	・泊漁協	・事前認定 (H18.02.20)

- 注) 1. 平成10年度合併計画策定時の漁協数：沿海地区55、業種別10、合計65漁協
 2. 既に合併し、「認定」を受けた漁協：3漁協
 3. 現在、合併協議に参加している漁協：沿海地区31漁協（不参加漁協：沿海地区19漁協）

浜の情報・話題

JF全漁連が事業主体となって行われる『燃油等基金対策事業』

燃油高騰が社会的に大きな問題になっており、日本経済に大きな影響を及ぼしている中、他業種は価格転嫁が可能であるのに対し、漁業はそれが困難であることと、昨年来からの大型クラゲの来襲等により漁業経営は二重の打撃を強いられている。漁業経営に緊急性を要することから、今回17年度補正予算で「51億円基金」が創設され、唯一漁業のみに特別枠の予算が組まれた。ここでは、この基金に加え、第2次オイルショック時に創設された通称「タンク基金」の2つの基金を紹介することで、漁業者の皆様の有効活用を願うものである。

1. 経営体質強化緊急総合対策事業（大型クラゲ・燃油対策基金）

①漁業用燃油流通効率化緊急総合対策事業

【事業内容】 JFグループの燃油流通効率化の取り組みを支援し、施設の統廃合等に必要な経費について助成する。

【助成率】 助成対象施設の建設等の額の50%以内

【実施期間】 ～H19.3.31

②漁業者協業化取組支援事業

【事業内容】 省エネ転換に取り組む漁業者グループの育成と協業化に必要な省エネ施設や省エネ操業形態の導入などを支援する。

【助成率】 総事業費の50%

【実施期間】 ～H19.3.31

③大型クラゲ被害防止緊急総合対策事業

【事業内容】 (1) 大型クラゲの出現状況を調査し、漁業関係者に情報を提供する。

(2) 漁協等が自主的に洋上駆除に取り組む場合、駆除漁具代、燃油代等を支援する。(助成率：定額)

(3) 大型クラゲの混獲を防ぐための定置網や底びき網等の改良漁具の導入を支援する。(助成率：総事業費の50%)

(4) 陸揚げされた大型クラゲの処理及び有効利用を行う場合、運搬や処理用機材の導入等に要する経費を助成する。(助成率：定額、処理機材導入は50%)

【実施期間】 ～H19.3.31

2. 漁業経営安定特別対策事業（タンク基金）

①漁業用石油タンク建設経費等助成特別事業

【事業内容】 漁協等が燃油流通の効率化に必要な石油タンク等を建設し、その経費について助成する。

【助成率】 助成対象施設の建設等の額の20%以内

【実施期間】 ～H19.3.31

②漁業用燃油流通効率化緊急対策事業

【事業内容】 漁協等の燃油流通の効率化を図るために行う燃油施設の統廃合等に必要な経費について助成する。

【助成率】 助成対象施設の建設等の額の20%以内

【実施期間】 ～H19.3.31

【この件に関するお問い合わせ先】 県漁連指導課 TEL 017-722-4218 FAX 722-5031

浜の情報・話題

●青森県漁業共済組合より

『浜を守る！ぎょさい総加入運動』展開中

ー「ぎょさい」でつなぐ明日の漁業ー

- ぎょさい団体では、平成18年度から20年度までの3年間に渡り、下記の運動目標を掲げ全国普及推進運動を展開しております。
漁業経営安定対策の柱として、「ぎょさい加入推進」にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

<運動の目標>

1. 漁業共済基盤強化事業（国の新規掛金補助）の活用
2. 漁業の主要な担い手の全員加入
3. 真に経営安定に役立つための補償力のアップ

<青森県の数値目標>

1. 運動最終年 ⇒ 加入率 60% （平成17年度49%）
2. " ⇒ 共済金額 167億円 （平成17年度122億円）



●(社)青森県漁港漁場協会より

本会では、水産関係団体、漁業協同組合の役員、職員を対象に漁港・漁場・漁村整備に関する「青森県漁港漁場整備事業研修会」を開催します。

講師は水産庁、県、漁協及び魚礁ブロック会社担当者を予定しています。

ご案内文書（8月中旬発送予定）により出席のご都合をお知らせ下さい。

記

日時：平成18年9月27日（水） 13：00～17：00

場所：青森県水産ビル 大会議室

●平成18年度「はまなす植樹」

青森県漁業環境保全振興協会は「環境保全対策事業」の一環として、平成15年度から漁協の敷地内などに「はまなす」の苗木を植樹しております。

今年度は、6月に脇野沢村漁協、鰺ヶ沢漁協、泊漁協のご協力を得て、3ヶ所で300本を植樹しました。

この事業は、来年度も計画しておりますので、各漁協の皆様のご協力をよろしくお願い致します。



平成18年6月17日
「鰺ヶ沢漁協はまなす植樹」



平成18年6月13日
「脇野沢村漁協はまなす植樹」



平成18年6月27日
「泊漁協はまなす植樹」

水産に関する主な動き（4月～6月）

4 月	事 項	場 所
15日(土)～16日(日)	「ほたて広場」開業1周年記念式典・イベント	平内町
18日(火)	経営体質強化緊急総合対策事業ブロック会議	東京都
26日(水)～27日(木)	青森県漁協専務参事会研修会・通常総会	青森市
5 月	事 項	場 所
2 日(火)	むつ市・川内町・脇野沢村3漁協合併研究会	むつ市
2 日(火)	青森県小型いか釣漁業協議会通常総会	青森市
6 日(土)	経営体質強化緊急総合対策事業等説明会（むつ湾地区）	青森市
8 日(月)	経営体質強化緊急総合対策事業等説明会（日本海地区）	青森市
9 日(火)	経営体質強化緊急総合対策事業等説明会（太平洋地区）	三沢市
12日(金)	今別・三厩地区漁協合併研究会組合長会議	外ヶ浜町（三厩）
12日(金)	大型クラゲ被害防止検討委員会	東京都
17日(水)	平内町漁協清水川支所修祓式・落成祝賀会	平内町
17日(水)	鰯ヶ沢・深浦地区漁協合併推進協議会組合長会議	鰯ヶ沢町
18日(木)	青森県ほたて流通振興協会通常総会	青森市
22日(月)	青森県漁港漁場協会通常総会	青森市
22日(月)	社団法人青森県水産振興会通常総会	青森市
23日(火)	青森県漁船海難防止講習会	三沢市
25日(木)	日韓・日中対策事業検討委員会	東京都
27日(土)	青森県魚市場協会通常総会	青森市
29日(月)	社団法人青森県ほたて漁業振興基金通常総会	青森市
30日(火)	青森県漁業環境保全振興協会通常総会	青森市
30日(火)	青森県漁船海難防止・水難救済会通常総会	青森市
30日(火)	青森県漁場監視団連合会通常総会	青森市
30日(火)	青森県漁船海難防止決起大会	青森市
31日(水)	青森県太平洋沖合のスルメイカ資源管理・利用のあり方検討会	八戸市
31日(水)	野辺地町漁協合併推進説明会	野辺地町
6 月	事 項	場 所
2 日(金)	青森県漁船保険組合総代会	青森市
5 日(月)	今別町・外ヶ浜町（三厩村）地区4漁協合併研究会	今別町
14日(水)	青森県漁業経営安定対策本部通常総会	青森市
14日(水)	青森県漁業協同組合連合会通常総会	青森市
15日(木)	全国水産業協同組合連合会青森県推進本部通常総会	青森市
15日(木)	青森県漁業信用基金協会通常総会	青森市
15日(木)	青森県漁船海難防止・水難救済会通常総会	青森市
15日(木)	青森県漁業振興推進懇談会	青森市
18日(日)	ほたて供養祭・「ほたての日」記念イベント	平内町
20日(火)	減損会計導入に係る協議会	青森市
21日(水)	鰯ヶ沢・深浦地区漁協合併推進協議会	鰯ヶ沢町
23日(金)	青森県信用漁業協同組合連合会通常総会	青森市
23日(金)	青森県漁業共済組合通常総会	青森市
23日(金)	社団法人青森県漁協経営安定対策協会通常総会	青森市
26日(月)	東通地区漁協合併推進協議会	東通村
28日(水)	全国漁業協同組合連合会通常総会	東京都
30日(金)	むつ湾漁業青色申告会連合会通常総会・創立30周年祝賀会	青森市

県内漁協職員紹介

大畑町漁協



ここは、下北半島の北辺中央部に位置し、北は津軽海峡、南は朝比奈岳の山系に囲まれた、05年3月むつ市に編入合併した、人口約66,700人／うち大畑町約9,000人の、基幹産業が漁業の北緯41°-22'イカの町おおはたである。又、関係諸団体・各機関の温情支援を甘受、職員数ピーク時41人→現15人体制で必死の経営・運営の中で財務改善計画を遂行する当組合としては、周辺の大間原発及び東通原発基金・交付金並びに原船「むつ」後の海洋調査船航路補填の受益漁協の健全経営を横目に、羨ましくも謙虚に模範とさせていただき、役職員一同、今後も呻きながらも悔いのない組合経営・運営に終始して参りたいと思いますので、より一層の御理解と御支援を賜りますよう再拝するものです。

1. 業務部指導課（課長補佐） 2. バンド（スポンのバンド集め） 3. NOW on sell!!「おやんずの鼻穴」…（マテ） ・日本酒のみクラブ会長		工藤 満	1. 業務部販売課（係長） 2. バードウォッチング 3. 只今、海ネコの研究中です。		気仙 正博	1. 総務部総務課（総務部長） 2. むつ市の盛場で夜釣り（?） 3. 気仙君を相手にブロレス必殺技開発中!!		成田 幸雄
1. 業務部販売課 2. 水泳、犬泳ぎ 3. 早く泳げるようになりたいです。		佐藤 俊	1. 総務部課長代理 2. 相撲の星取 3. えへwコレステロール増加中!		三国 文之	1. 業務部指導課 2. 昼寝 3. 食べて寝て、太る一方です。		元木 薫
1. 指導課長 2. 酒 3. 変なおじさん		若山 一寿	1. 総務課長 2. 犬との散歩・飲む事 3. 体型維持（太杉） フトリズギに努めています。		小杉 隆義	1. 販売課長 2. 高額賞金をめざしてロト6購入、家庭菜園 3. 気持ちは30代、実際は〇〇才、身も心もボロボロで仕事しています。		池田 昭弘
1. 代理店受託信用課長 2. ドライブ、山歩き 3. 特になし		仁和 孝夫	1. 総務部受託信用課 2. 生け花（サークル） 3. 温泉大好き! 只今全国温泉めぐりを夢見て500円玉貯金をしてまーす。		杉澤 千代子	1. 総務部総務課 2. 10時間以上寝ること♡ 3. 体型維持がんばってます♡		鳴海 優美
1. 業務部長 2. 競馬 3. ディープインパクト 〇〇コウの研究中		小野寺 誠吾	1. 業務部指導課（係長） 2. イカさき 3. 爽やか・日本、細目クラブ在籍		早坂 斎	1. 業務部販売課 2. 昼寝、ビデオ鑑賞 3. 何もありません		新岡 さな

編集後記

大型クラゲ・燃油高騰対策として、全漁連に「経営体質強化緊急総合対策基金（51億円）」が設置されております。事業内容等については浜の情報・話題でご紹介しておりますので、漁業経営の体質強化のため、有効に活用していただきたいと思います。

1. 担当業務
2. 趣味・特技
3. 自己PR